The project for the management capacity development for improvement of health services in Montserrado county



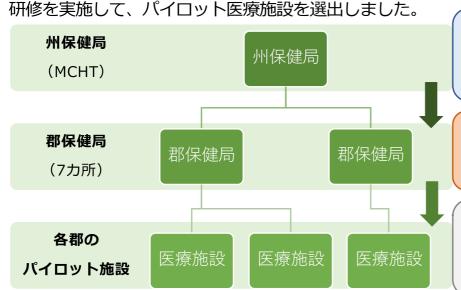


Newsletter 第2号



本プロジェクトは、モンセラード州保健局(Montserrado County Health Team: MCHT)の監理能力の強化、ミニプロジェクトを通じたPDCA管理能力の向上、5S-KAIZEN-TQMを用いた郡保健局と州内の保健医療施設の組織マネジメント強化、グッドプラクティスの共有等を通して、MCHTのマネジメント能力の強化と保健サービスの改善を目指します。

MCHTでは、マネジメント強化の第1ステップとして、2021年10月から約半年にわたって5S活動のうち、整理・整頓・清掃(S1: Seiri, S2: Seiton, S3: Seiso)を導入しています。今後は、3S活動の次の段階である清潔/標準化(S4: Standardize)、しつけ/持続(S5: Sustain)に向けて活動を進める予定です。また、州内の郡保健局やパイロット医療施設に5S-KAIZEN-TQMを展開するため、MCHTの5S-KAIZEN-TQM指導者を育成し、郡保健局と医療施設職員を対象とした5S



- ・ MCHTに5S活動を導入
- 5S-KAIZEN-TQMの指導者育成
- MCHTで5Sを実現
- MCHTでカイゼン手法を導入
 - 郡保健局を対象に5S研修を実施
- 5S-KAIZEN-TOMの指導者育成
- 郡保健局でカイゼン手法を導入
- ・ パイロット医療施設の選出
- ・ 医療施設を対象に5S研修を実施
- 医療施設で5S活動を導入
- 医療施設でカイゼン手法を導入

5S活動の標準化と定着のためには、質改善チーム(QIT)や業務改善チーム(WIT)による活動の進捗確認、課題の抽出と組織間での共有が必要不可欠です。そこで、MCHTのQITのメンバーを中心に、5S活動のモニタリングセッションを行い、MCHTの5S活動の責任者であるMr. Samuel F. BlayonにMCHTの5S活動の状況、活動を実施する上での課題、今後の活動方針についてご報告いただきました。また、施設内を巡回し、チェックシートを用いてリーダーシップ、WITの活動状況、5Sの各活動全20項目について5段階で評価しました。この活動を通して5S活動の課題を明らかにすることができました。

5S指導者研修

これまでの5S-KAIZEN-TQM手法への理解度や活動に 積極的な参画状況を踏まえ、MCHT職員8名を5S指導 者として選出し、2022年5月13日に指導者研修を実施 しました。少人数で行われた模擬授業形式の研修で、 講義の内容への理解を深めるとともに、初学者への指 導方法について活発に議論しました。



MCHTの5S指導者の8名と

郡保健局・医療施設のスタッフを対象とした5S研修

州内7カ所の郡保健局や各郡のパイロット医療施設を対象に、各郡保健局から3名、各医療施設 から2名のスタッフを招き、2日間の5S-KAIZEN-TQM研修を実施しました。この研修では、指 導者研修を受けたMCHTの5S指導者が講師となり、①保健医療施設における総合的品質管理 (Total Quality Management: TQM)、②5S-KAIZEN-TQMのコンセプト、③5S活動の導入、 ④5Sツールの4つの講義を担当しました。加えて、プレゼンテーションと見学を通してMCHT の5S活動を紹介し、研修の最後には、各郡保健局と各医療施設のアクションプランを策定しま した。MCHTの講師の皆さんは、日本人専門家のサポートを受けながら熱心に講義・指導を行 い、初めて5S-KAIZEN-TOMを耳にした参加者からは「(初めはよくわからなかったが)5Sに どんどん興味がわいてきた!」「職場だけでなく自宅でも取り入れたい」との感想が聞かれま した。



Ms. Ansatue Siryonによる講義



MCHTの5S活動の紹介



アクションプランの策定

ronning to the first front 第1回合同調整委員会/キックオフ会議を行いました

2022年6月14日、プロジェクトのキックオフを兼ねた第1回合同調整委員会会議が行われました。 冒頭、モンセラード州知事、保健省、JICA関係者、開発パートナーから、モンセラード州の保 健システム強化の必要性と本プロジェクトへの大きな期待が述べられました。

続いて、藤本専門家からプロジェクトの概要と改訂版のプロジェクト計画について、プロジェク トマネージャーであるMCHT保健局長のDr. Yatta Sackie Wapoeから2020年9月以降のオンラ インを含めたプロジェクト活動の実績について、MCHTの臨床保健サービス課長であるMr. Samuel F. BlayonからMCHTにおける5S活動の進捗と今後の計画について発表しました。参加 者の多くが"5S-KAIZEN-TOM手法"に興味を持ってくださり、「保健セクターのさまざまな場面 に応用できる」「リベリアの保健システム強化に非常に有用」「問題の原因分析、解決にも役立 つ」などの意見をいただきました。また、モンセラード州知事から参加者へ「プロジェクト成果 の持続性はリベリア側が主体的に考え、取り組むべき課題である。州政府、保健省もモンセラー ド州の保健サービスの質向上のために尽力していきたい」との力強いメッセージが送られました。 プロジェクトは今後、5S-KAIZEN-TOMによる組織マネジメントの強化を基礎に、母子保健を中 心とした保健サービス改善・監理支援能力強化のため、MCHTの皆さんと協働していきます。

出席者内訳

モンセラード州事務所	3名
保健省	1名
モンセラード州保健局	13名
モンセラード州内郡保健局	7名
JICA (ガーナ事務所、リベリアフィー ルドオフィス)	2名
JICA専門家チーム	3名
開発パートナー (WHO, USAID, UNICEF)	4名
合計	33名



JCCにご出席いただいた皆さんと